

令和6年度「60（ロクマル）プラス」優良実践校 実践報告書

1	実践校名	岩手県立不来方高等学校
2	実践名	みんなで挑戦！60（ロクマル）プラスプロジェクト
3	実施対象者	不来方高等学校生徒
4	目標	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活習慣や健康課題を見つめ直し、生活を主体的にコントロールする力を身につける。 活動を校内や家庭、地域に広め、地域や家族で生活習慣を見直すきっかけにしよう。
5	実践内容	<p>ア ①・②</p> <p>(1) 60（ロクマル）プラスプロジェクトチャレンジカードの活用と生活習慣病予防教育 家庭科では食生活領域において、不来方高校生徒の身体測定結果や岩手県の子どもの肥満率等から現代の食生活の課題を把握し、長期休業期間に全員で60プラスプロジェクトに取り組み、自らの意思で「運動」「食生活」「睡眠」習慣の改善を行うことを目標としている。</p> <p>(2) 保健厚生課では、1学年で岩手医科大学学長による保健講話、2学年で生活習慣予防教育、3学年では食育講演会、薬物乱用防止講座をそれぞれ年に1回ずつ継続して開催しており、食を含めた生活習慣確立の重要性について学ぶ機会を設けている。</p> <p>(3) 保健体育科では、生徒が意欲的に取り組める授業内容の工夫が継続して行われており、生徒は毎時間生き生きと授業に取り組んでいる。また自律した生活習慣を確立することの重要性を理解させるための授業が全クラスで展開されている。</p>
		<p>イ ③・④</p> <p>(1) 健康課題の解決をめざした食事作り（R5 お弁当・R6 朝食） 家庭科では「60（ロクマル）プラスプロジェクト」の活動に加え、学校オリジナルの取り組みとして「自分の健康課題の解決に向けた食事づくり」に取り組むことにした。レポートはスライドで作成し、Teamsで提出させた。</p> <p>令和5年度は、全員の「お弁当」の写真をプリントし文化祭に展示し、来校された地域の方にご覧頂いた。また、家庭クラブ盛岡支部研究発表大会において不来方高校の取り組みを発表し、優秀賞を頂いた。</p> <p>令和6年度は前年度の取り組みを動画で視聴するところからスタートし、夏季休業期間では引き続きチャレンジカードの活用と「朝食づくり」に取り組んだ。文化祭では家庭クラブ員が作成した生活習慣についてのアンケート結果と「朝食」のレポート（クラス代表2～3名）を展示発表した。チャレンジカードの取り組みは冬季休業も継続して行っている。</p>
		<p>ウ ⑤</p> <p>チャレンジ後の変容をアンケートで尋ねたところ、最も多かったのが「よく噛むようになった」、次に「睡眠時間を意識するようになった」というものであった。他の項目にも意識の変容がみられ、運動、食、睡眠に意識を向け自律した生活の重要性を認識出来たと回答する生徒が多かった。</p>
6	成果	<p>(1) 自分の生活習慣や健康課題を見つめ直し、自分で生活をコントロールすることの大切さが実感できた。</p> <p>(2) 文化祭や研究発表大会をとおして、不来方高校家庭クラブで取り組んだ60（ロクマル）プラスプロジェクトの活動を校内や家族、地域の方と課題を共有し、取り組みの意義を知っていただくことができた。</p>
7	課題	<p>アンケートでは睡眠とスマホ使用時間（スクリーンタイム）に関連性が見られた。今年度生徒が自ら作成したアンケート調査では「学校生活の満足度」や「多忙感」について尋ねる項目が設定されており、スマホ使用時間や日常生活のストレス対策について踏み込んだ調査や提案が必要になってくると考えられる。</p>
8	今後の予定	<p>家庭クラブ活動はホームプロジェクトと共に、高校家庭科で指導すべき内容として学習指導要領に記載されている。南昌みらい高等学校でも引き続き、家庭クラブとしての「60（ロクマル）プラスプロジェクト」の取り組みを継続させていきたい。また体育学系が設置されている学校としての特徴を活かした内容を加えて発展させていきたい。</p>

令和6年度 「遅く生き抜く力の育成と知・徳・体の調和のとれた人間形成」を目指した年間指導計画（不来方高校）

行事等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行事等	入学式・対面式	高校総合体育大会	考查（前期中間） 体育祭	夏季休業 (7/25～8/16)	文化祭	自殺防止週間 心とからだの健康観察 考查（前期期末）	高校総合文化祭	児童虐待防止 推進月間 考查（後期中間）	修学旅行 冬季休業 (12/21～1/8)	大学入学共通テスト	考查（後期期末）	卒業式 高校入試
校内研修等	【年度初の職員会議】 学校経営計画の提示	【校内研①】4/18 ・生徒指導研修 「部活動指導のあり方①」	【校内研②】6/7 ・教育相談研修 (AED講師)	【校内研③】6/10 ・教育相談研修 「心とからだの健康観察」	【校内研④】8/28 ・教育相談研修 「心とからだの健康観察」	【校内研⑤】9/6 ・生活実態調査 「心とからだの健康観察」	【校内研⑥】9/26 ・生徒指導研修 「部活動指導のあり方②」	【校内研⑦】11/6 ・教育相談研修 「高3生の進学準備の準備」 ※心とからだの健康観察の活用				
教育目標達成に向けた全体の取り組み	年間を通して、教職員と生徒との人間関係をつくる（授業・部活動・清掃時間などでの積極的な声掛け）											
全職員	生徒指導の3機能を生かした授業づくりをおこなう											
担任・担当・専任	家庭での状況確認等		生活実態調査① 生活満足度調査①			心とからだの健康観察・ 授業	生活実態調査② 生活満足度調査	生活実態調査③			生活実態調査④	
生徒	基本研修（初任、2・3年目、5年、中堅教員研修）、特別研修、教職専門等研での生徒指導関連の講座（教育C）											
保健体育科	生活習慣病予防教育・生涯スポーツに通じる運動教育											
健康・体力向上・生活習慣の確立	体育学系2・3年 スポーツ総合演習（スポーツと栄養・スポーツインテグリティ等 講義と研究発表）											
家庭科	家庭基礎 食生活領域 「人の一生と食事」「栄養と食品」「食生活のデザイン」											
保健衛生課	身体測定・健康診断											
いじめ早期発見の取組	保健だよりの発行（生活習慣の確立・こころの健康・感染症予防）											
生徒指導	担任・副担任によるチェック（生活ノートの記述、面談週間の実施、日頃の定点観察、各種検査・調査後の個別面談）											
援助希求啓発	校内巡視（些細な兆候でも、問題行動・いじめではないかとの疑いをもって、早い段階からの関わりをもつ）。											
援助希求啓発	を生命尊重ポスターに活用した指導	相談窓口の周知	（1）年（生）教育相談電話	（1）年（生）教育相談電話	学校以外の相談窓口の設置 生命尊重ポスターの掲示 教育相談だよりの発行	（2）年（生）教育相談電話	（24時間子供SOSダイヤル、ふれあい電話、ふれあいメール等）					（スクールカウンセラーの紹介と来校日の周知、WEB相談窓口の紹介）
援助希求啓発	スクールカウンセラーによる支援 学校教育相談体制による支援											

みんなで挑戦！60プラスプロジェクト

岩手県立不来方高等学校家庭クラブ

2 実践活動 (2) 健康課題を解決するためのお弁当

～不来方高校オリジナルの取り組み～
自分の健康課題を見つけ、食生活との繋がりを意識する

- 例えば・・
- ・競技力向上のために、筋肉をつけたい。
 - ・適正体重をかなり上回っている（下回っている）。
 - ・貧血である。・朝食を食べない。
 - ・間食が多い。・甘い飲み物を多く摂取している。

BMI値の比較

	やせ傾向	標準	肥満傾向
全校男子	1.8% ↑	87.8% ↓	10.4% ↑
1学年男子	1.1%	90.4%	8.5%
岩手県男子	3.67%	81.05%	13.2%
全校女子	3.4%	87.5% ↓	9.1% ↑
1学年女子	3.5%	90.2%	6.3%
岩手県女子	1.67%	86.69%	11.64%

2 実践活動 (2) 健康課題を解決するためのお弁当

1年 3組 Aさん
「競技力向上を目指す」
私をプロデュース

2 実践活動 不来方高校「60プラスプロジェクト」

- 60プラスプロジェクト
夏休みチャレンジ
- 健康課題を解決するための
お弁当づくり
- 広報・普及活動



課題解決のための調査内容

- 競技力向上の食事（運動後の食事）
- ・タンパク質、炭水化物を運動後にとる。
（100%オレンジジュース、牛乳、ヨーグルト、おにぎり、肉まん、バナナを食品とあわせて食べると良い）
- 夏バテ防止
- ・栄養バランスの良い食事を摂る
 - ・睡眠をしっかりとる
 - ・こまめな水分補給
 - ・入浴時には湯船に浸かる
 - ・生活のリズムを整える
- 間食を減らす方法
- ・無理をせず少しずつ間食の回数や量を減らす。

5 チャレンジ後、意識の変化はありましたか？

- あった 132人
- なかった 66人



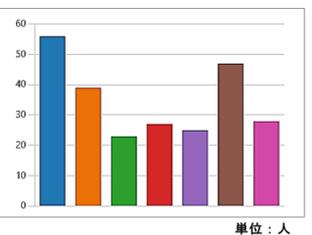
「競技力向上と夏バテ防止」のお弁当



6 「あった」と答えた人に聞きます。具体的にはどのような変化ですか？

(複数回答)

- 食事の時によく噛むようになった 56
- 栄養バランスに気を付けるようになった 39
- 朝ご飯を必ず食べるようになった 23
- 寝る時刻が遅くならないようになった 27
- 起きる時刻を意識するようになった 25
- 睡眠時間を意識するようになった 47
- 運動習慣を意識するようになった 28



生徒の考察・感想①

このチャレンジを夏休み期間中やってみて、改めて自分の生活習慣を見直して、改善することができたと思うのでよかった。

自分で栄養バランスを考えて、それを踏まえて弁当を作るのは初めてで難しかったけれど、お母さんに手伝ってもらいながら頑張って作ることができてよかった。これを機に、料理の面白さがわかったので時間があつたら、積極的に料理の手伝いをしていきたいと思った。



